

災害発生時におけるヘリコプターによる迅速な調査

1. ねらい

地域の安全・安心に向けて自然災害の被害状況を把握するため、ヘリコプターを活用して迅速に調査を行います。

2. 概要

大規模な山地災害が発生した際は、国有林の有無にかかわらず、県や市町村と連絡を取りながら、ヘリコプターにより上空から被害発生状況を目視で調査し、おおよその被害規模や被災場所を確認します。

3. 成果

令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨においては、上空からの目視調査により、山腹の崩壊や土砂が流出した被災箇所を確認し、河道閉塞(天然ダム)など二次被害が懸念される箇所の緊急性の有無を検討のうえ、その後の地上調査の足がかりとするとともに、県や市町村へ情報共有しました。なお、河道閉塞が確認された箇所では、土石流シミュレーションを行うとともに、住民の皆様へ速やかに情報提供が出来るよう、土石流センサー・監視カメラ・通報システムを設置しました。



4. 問い合わせ先

企画調整課、治山課

電話026-236-2515